

# 鉄道ピクトリアル

2018年8月号増刊 Vol.68 No.8 通巻No.949

## <特集> 東武鉄道

■表紙 500系リパティと70000系……………焼田 健

南栗橋車両管区春日部支所 2018-6-8  
キヤノンEOS5D SR EF16-35mm F4 L IS 絞り f16 タイム1/60 ISO100

## ■グラフ

119年の轍 (1~8・169~171ページ)

……………澤木良直・松浦広明・岩瀬貴洸・浜村正弘・目黒義浩ほか  
東武電車の行くところ

—広範囲にわたる東武鉄道の直通運転— (172~173ページ)

……………渡邊裕太郎・関根 涼・白井 剛ほか  
思い出の東武鉄道'70~80s (174~175ページ)

……………小林 武・千田正哉・阿部一正・関根敏男・斎藤 正  
坂戸直輝コレクション 1964年の東武電車沿線案内 (176ページ)

……………所蔵と解説: 坂戸直和

\*

往年の東武鉄道—列車・車両—施設……………構成: 編集部… 75

近年の臨時列車ピックアップ……………写真: 関 周一… 80

ドアはいくつ?……………岸上 明彦… 82

思い出の日光軌道線……………構成: 編集部… 84

1950年代 東武紀行……………写真: 山岸庸次郎… 86

東武鉄道 追憶……………写真: 永井信弘・永井弘明…177

大谷石と東武鉄道……………構成: 山田俊明…181

東武鉄道の蒸気機関車……………写真: 林 曉・石川尹巳ほか…184

東武の貨車……………構成: 澤内一見…188

## ■本 文

今月の話題: 東武鉄道……………編 集 部… 9

総説: 東武鉄道……………東武鉄道(株)経営企画部… 10

対談: 東武鉄道の鉄道事業を語る……………都筑 豊・今城光英… 17

営業設備とサービス……………東武鉄道(株)営業部… 28

輸送と運転 近年の動向……………東武鉄道(株)運輸部… 32

駅、乗務管区……………東武鉄道(株)営業部・運輸部・鉄道乗務員養成所… 44

運行管理所の役割と業務……………東武鉄道(株)運輸部… 48

車両総説……………東武鉄道(株)車両部… 53

車両管区・検修区(車両基地)の概要……………東武鉄道(株)車両部… 60

南栗橋工場の設備と業務……………東武インターテック(株)… 68

線路と保線……………東武鉄道(株)施設部… 88

電力設備の概要……………東武鉄道(株)施設部… 94

信号保安・通信設備の概要……………東武鉄道(株)施設部… 98

「SL復活運転プロジェクト」のこれまでと今後……………東武鉄道(株)SL事業推進プロジェクト…104

審議会答申等における東武東上線都心直通運転の経緯……………平田 一彦…112

東武鉄道特急列車変遷史……………花上 嘉成…118

東武鉄道 往年の時刻表から……………酒井 芳朗…130

「赤い急行」1800系の足跡……………斎藤 幹雄…132

沿線育ちが見た「りょうもう」号30年……………小野田恵一…138

東武鉄道隅田川橋梁に関する技術的考察と鑑賞のための処方箋……………志水 茂・半野久光…144

東武鉄道 古レールを用いた柱のパラエティ……………大沼 一英…150

東武鉄道のHL車……………澤内 一見…158

東武車両のリニューアル工事……………糸川 零一…162

東武車両—音と色—……………中山 嘉彦…191

東武~五感で感じたあの頃の本線模様……………上田 康晴…195

変わりゆく野田線~アーバンパークラインへ~……………齋藤 敏夫…202

東武鉄道現有車両プロフィール&データファイル2018……………糸川零一…205

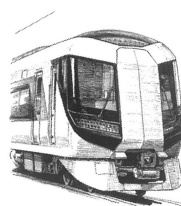
〔現有車両主要車歴表・編成表……………294〕

後部車から……………303

ISSN0040-4047

Tetsudo pikutoriaru

今月の話題



カット: 松本一雄

## 東武鉄道

東武鉄道は東京、千葉、埼玉、栃木、群馬の1都4県に463.3kmの路線網を展開する大手民鉄で、浅草を起点とする本線系、埼玉、千葉県下を半円状に伸びる野田線、池袋を起点とする東上線を基幹とする路線規模は関東大手民鉄随一である。最初の開業は1899(明治32)年で、今日まで約120年の長い歴史を有しており、東京圏の通勤・通学輸送、日光・鬼怒川方面への観光輸送などで大きな役割を担っている。本線系北千住で地下鉄日比谷線、押上で地下鉄半蔵門線、東上線と光市で地下鉄副都心線との相互直通運転により、複数の都心方面直通ルートを持つとともに、さらに横浜方面に至る広域なネットワークを形成している。また、北千住一北越谷間18.9kmは民鉄最長の複々線区間となっており、輸送サービスの向上に貢献している。

近年の東武鉄道をめぐる大きな話題としては、新特急車500系リパティのデビューと、鬼怒川線のSL復活運転開始であろう。500系リパティは分割併合を可能にしたこれまでにない新感覚の特急車として、日光・鬼怒川方面の観光輸送のみならず、特急ネットワーク拡大による広範囲な需要創出を実現している。そうした内容が評価され、2018年鉄道友の会ローレル賞を受賞した。一方、まもなく1周年を迎えるSL運転は、日光・鬼怒川エリアの活性化施策として、また鉄道産業文化遺産の保存・活用などを目的とした画期的なプロジェクトであり、各地の関係鉄道事業者の支援のもとに総力を結集して実現したもので、実現に至る経過を含めてその意義はきわめて高いものである。こうしたプロジェクトの遂行と継続、さらにその他で進められている多様な事業により、東武鉄道はますます飛躍を続けていくと思われ、次世代に向けて今後の展開が楽しみである。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI  
Mehrlicht Ochanomizu Bldg., Kanda  
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan